

平成25年度事務事業評価シート		該当事業(評価対象外事業は基本情報のみ記載)		
		一般事務	公共建設事業	評価対象外事業
事務事業名	幼稚園修繕事業			
予算科目	10 款 4 項 1 目			
総合計画での位置付け	教育・文化・スポレクの振興～うるおいと生きがいのひとづくり～ 学校教育の充実			
所管課情報	担当課:	学校教育課	電話番号(内線):	642
記入者情報	所属長:	田中 浩	担当責任者:	大西 昌治
事業の性格	法定事務			
実施期間	【開始年度】平成 17 年度 【開始年度】設定なし			
事業の対象	市内4幼稚園			
根拠法令等				
事業の目的	園児が、安全で、安心に過ごせる施設の維持管理を図る。			
事業の内容	幼稚園施設及び設備の修繕・改修			
改善策の 具体的 取り組み (当初)				
改善策の 具体的 取り組み				

事業費及び財源内訳					
項 目		24年度決算	25年度予算	9月末の執行状況	25年度決算
事業費	直接事業費	2,007	15,438	4,471	13,629
	人件費	1,199	1,220	650	406
	合計	0	16,658	5,121	14,035
人件費 内訳	人工数	0.15	0.15	0.08	0.05
	人件費単価	7,999	8,135	8,135	8,135
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	1,199	1,220	650	406
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	3,206	16,658	5,121	14,035

事業活動の実績(活動指標)					
項目	単位	24年度実績	25年度予定	9月末の実績	25年度実績
整備状況	%	68	100	29	88

向こう5年間の直接事業費の推移						
年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	5年間の実績
		3,000	3,000	3,000	3,000	

成果指標				
成果指標	支出額÷予算額			
指標設定の考え方	安全で安心な施設の整備が図れたかを指標とすべきと考えるが、設定が難しいため、予算額(園の要望)に対する執行率を指標とし整備状況とする。なお、施工時にコストの縮減等適正な執行に努める。			
区分年度	24年度	25年度	26年度	目標26年度
目標	100	100	0	0
実績	68	88	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	予算編成時に計画していた事業については、各幼稚園と施工時期の協議を行い、実施することができた。また、突発的に発生した修繕についても早急な対応を図り、幼稚園児に安全安心な環境を提供することができた。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	計画をしていた修繕を適切に実施することができた。突発的な修繕については、コストの縮減など適正な執行を図ることができた。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	担当者の課題認識欄に記載がないので、差し戻しをして、入力させてください。

行政評価委員会の答申

外部評価 (行政評価委員会)	
-------------------	--

経営者会議の最終判断

事業の方向性	現状のまま継続する。
意見、課題	